

## FT Lab 報告書の内容例

|   |  |
|---|--|
| <b>ギャップ整理</b><br>マネジメントおよび他管理部門や事業部が期待していることと、CFO組織がやろうとしていることのGapを明確にし、改善施策の方向性を導出 |  |
| <b>CFO組織の目指す姿の明確化</b><br>CFO組織が備えるべき役割を“守り”から“攻め”に変革していく方向性と注力すべき業務の明確化             |  |
| <b>施策策定</b><br>CFO組織に期待される姿を実現するための改善策を策定し、CFO組織が主体となって推進していく施策とその期待効果整理            |  |
| <b>施策の成功要因</b><br>施策実行の障壁・困難度合いを整理し、成功に導くために重要な成功要因を整理                              |  |
| <b>実行ロードマップ</b><br>施策ごとの関係性を考慮しながら、マイルストーンを定め、中長期のロードマップを作成                         |  |

## FT Lab実施スケジュール例

| 第1週  | 第2週   | 第3週     | 第4週   |
|--|---|---------|-------|
| ワークショップ準備  |   | ワークショップ | 報告書作成 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>詳細打合せ(テーマ、ゴール設定)</li> <li>インタビュー項目準備</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>インタビュー実施/結果整理</li> <li>ワークショップ使用資料の準備</li> </ul> | 最終報告    |       |

## FT Labの活用場面例

|                    |   |
|--------------------|---|
| <b>部門ビジョンの作成</b>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>企業買収や組織再編の実施</li> <li>中期計画の作成</li> <li>部門体制の変更</li> </ul>                      |
| <b>新システムの要件整理</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>システムにより実現する目標等の整理や意識あわせ</li> <li>要件定義整理の1工程としての活用(システム化の優先順位のすり合わせ)</li> </ul> |
| <b>若手社員のトレーニング</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>経理部員のトレーニングメニューの1つ(毎会計期に実施)</li> <li>グループ会社・事業部などの経理部員のネットワーキング</li> </ul>     |

## お問い合わせ

FT Japan事務局 e-mail: [ftjapan@tohatsu.co.jp](mailto:ftjapan@tohatsu.co.jp)

トーマツグループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそれらの関係会社(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング株式会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー株式会社および税理士法人トーマツを含む)の総称です。トーマツグループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各社がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約40都市に約7,100名の専門家(公認会計士、税理士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はトーマツグループWebサイト([www.tohatsu.com](http://www.tohatsu.com))をご覧ください。

Deloitte(デロイト)は、監査、税務、コンサルティングおよびファイナンシャル アドバイザーサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界150か国を超えるメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを提供しています。デロイトの約200,000名におよぶ人材は、“standard of excellence”となることを目指しています。

Deloitte(デロイト)とは、デロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)およびそのネットワーク組織を構成するメンバーファームのひとつあるいは複数を指します。デロイト トウシュ トーマツ リミテッドおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。その法的な構成についての詳細は [www.tohatsu.com/deloitte/](http://www.tohatsu.com/deloitte/) をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。また、本資料の作成または発行後に、関連する制度その他の適用の前提となる状況について、変動を生じる可能性もあります。個別の事業に適用するためには、当該時点で有効とされる内容により結論等を異にする可能性があることをご留意いただき、本資料の記載のみに依拠して意思決定・行動をされることなく、適用に関する具体的な事業をもとに適切な専門家にご相談ください。

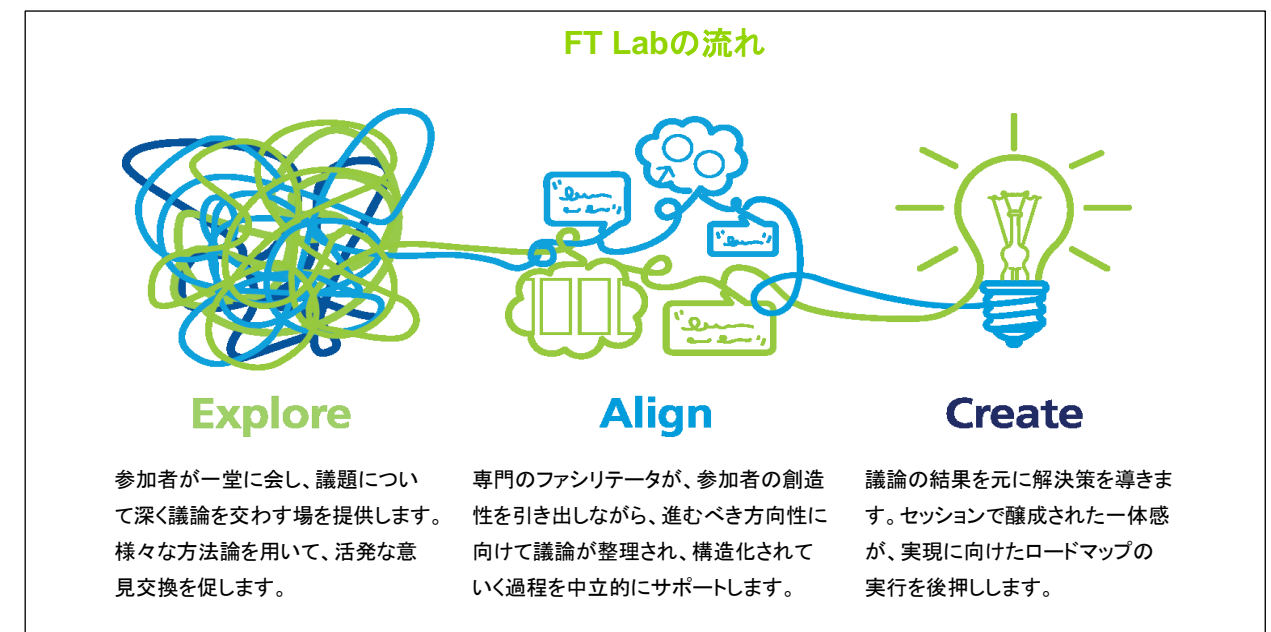
# FT Lab

## ファイナンス組織の道筋を描くワークショップ

### ファイナンス組織の変革/経営課題解決の方向性導出に向けて

企業を取り巻く経営環境は激しく変化しており、ビジネスを支えるファイナンス組織への期待もより高度化してきています。FT Lab<sup>1</sup>とは、このような環境変化に対応するためにファイナンス組織が進むべき道筋を描き出し、求められる変革や課題解決に向けた行動を促すことを目的としたワークショップです。

<sup>1</sup>:FT Lab: Financial Transformation Laboratoryの略。ファイナンス組織の変革にむけた討議の場を指します。



まずは、経営層や関連部門に事前ヒアリングを行い、ファイナンス組織に求められる期待や課題を把握したうえで、マネジメント層を中心とした次世代のファイナンス組織を担うメンバーでの1Dayワークショップを実施します。

ワークショップでは専門のファシリテーターも共に議論しながら、ファイナンス組織の現状の評価、ビジョンの明確化からロードマップの策定までを行います。

最後には、事前ヒアリングからワークショップ終了までの内容を精緻に整理・分析した報告書をご用意。ロードマップ実現に向けた第一歩をご支援します。

## ワークショップの進め方(例)

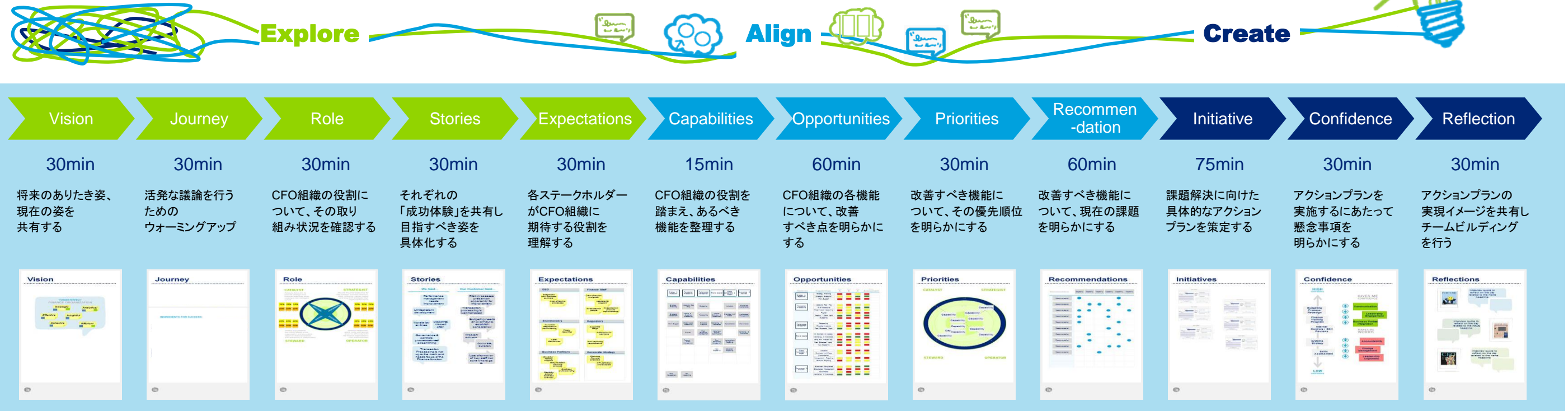
個々人の意見や想いを基に参加者が一堂に会して深く議論し、その効果を十分に引き出すためのセッション構成となっています。

また、社内関係者のインタビューなどの事前情報収集やトーマツの知見を元に、参加者の議論を様々な視点から活性化するための仕掛けも多数用意しています。

ワークショップ中に、普段は聞くことのできない本音や話す機会が無かったアイデアが出始めると、議論は白熱し、思わぬ展開を見せることもあるでしょう。

専門のファシリテーターはその中で共に議論しながらも、その内容を丁寧に構造化することを中立的にサポートします。

そして取り組むべき課題が明確になり、その解決に向けた具体的なアクションプランが描かれたとき、セッションのもうひとつの目的である実行に向けた一体感が生まれてきます。



## ワークショップ実施クライアントの声

- これまでグループ会社の経理・企画人員が一堂に会する機会はほとんどなく、電話やメールのみでのやり取りであった方と直接会える場となったことは、コミュニケーションのインフラとして良かった
- 各社で考えていることや、それぞれの業務において、ベースとなっている考え方が異なることが、如実に感じられた
- 仕組みだけでなく、意識がバラバラでは、業務の集約化や決算期の統一などを目指して経理・企画部門で一致団結する機会は遠くなってしまうと気づいた